平成22年度

日 臨 技 臨 床 検 査 精 度 管 理 調 査

製 品 別 分 類

株式会社　シノテスト
企画部　サービスチーム
作成　2010年6月1日

●臨床化学検査

濃度分析項目

1. グルコース(Glu) 単位 ： mg／dL

A:通常の分析

方法コード

測定方法	コード
ヘキソキナーゼ(HK)法	01
グルコキナーゼ法	02
ブドウ糖脱水素酵素法	03
ブドウ糖酸化酵素(GOD)法	04
ブドウ糖酸化酵素(GOD)電極法	11
その他の方法	99

検量コード

検量法	コード
溶媒ベース水溶性標準液	11
血清ベース標準液	21
管理血清等(表示値)	31
管理血清等(表示値以外)	32
その他	99

(方法)	(キット名)	(検量コード)	(標準物質名)
04	GLUネオ"ｼﾉﾃｽﾄ"	11	グルコース標準液(200mg／dL)
01	クイックオートⅡGLU-HK	11	GLU標準液(200mg／dL)
01	クイックオートⅡGLU-HK	21	多項目標準血清
01	クイックオートネオ GLU-HK	11	GLU標準液(200mg／dL)
01	クイックオートネオ GLU-HK	21	多項目標準血清
＊11	グルコローダー シリーズ	11	グルコローダー用GLU標準液

＊グルコローダー シリーズを使用の場合、試薬メーカーコードは「エイアンドティー」の"031" を選択してください。

【検量コード】 専用分析装置で測定し、機器指定の内部標準液等を使用している場合は検量方法コードの"11"を選択してください。標準液を表示値以外で使用している場合は、検量方法コードの"99"を選択して下さい。

試薬コード： 製造販売元メーカー「シノテスト」の"111"を選択して下さい。

2. 総ビリルビン(TB) 3. 直接ビリルビン(DB) 単位 : mg／dL

※直接ビリルビン:参考調査

A:通常の分析

方法コード

測定方法	コード
酵素法:アルフレッサファーマ(液状タイプ)‥‥	01
酵素法:アルフレッサファーマ(凍結乾燥タイプ)‥‥‥	02
酵素法:三菱化学メディエンス・ユニチカ・カイノス‥‥‥	03
酵素法:栄研化学‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥	04
酵素法:シスメックス‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥	05
酵素法:積水メディカル‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥	06
酵素法:その他‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥	09
バナジン酸酸化法‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥	11
亜硝酸酸化法‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥	12
ジアゾ法:シーメンス HCD‥‥‥‥‥‥‥‥‥	21
ジアゾ法:積水メディカル‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥	22
ジアゾ法:ベックマン・コールター‥‥‥‥‥‥	23
ジアゾ法:ニプロ‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥	24
ジアゾ法:ロシュ・ダイアグノスティックス‥‥‥	25
ジアゾ法:その他‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥	29
その他の方法‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥	99

検量コード

検量法	コード
溶媒ベース水溶性標準液‥‥‥‥‥‥	11
血清ベース標準液‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥	21
管理血清等 (表示値)‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥	31
管理血清等 (表示値以外)‥‥‥‥‥‥‥	32
実測K-factor‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥	41
その他‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥‥	99

(方法)	(キット名)	(検量コード)	(標準物質名)
03	アキュラスオート T-BIL(ユニチカ製)	‥21‥‥‥‥‥	ビリルビン標準液(ユニチカ製)
03	アキュラスオート D-BIL(ユニチカ製)	‥21‥‥‥‥‥	ビリルビン標準液(ユニチカ製)

【方法コード】管理試料を用いたビリルビン測定の精度管理調査は同一測定原理でも試薬間差が現れる可能性があり、試薬別の分類になっています。また同一メーカーより発売されている試薬でも異なる場合もありますので、試薬添付文書等で製造販売元を確認してから選択してください。
ジアゾ試薬法・安定化ジアゾニウム塩法等を採用している施設はジアゾ法を選択してください。
Evelyn-Malloy法、Jendrassik-Grof変法等もジアゾ法です。

【検量コード】酵素法・化学酸化法で試薬指定の標準液を使用している場合は”21:血清ベース標準液”を選択して下さい。直接ビリルビンの検量を行う際、総ビリルビンのファクターを利用している場合は”41”を選択して下さい。ジアゾ法またはその他の方法でアルブミン無添加の標準液を使用している場合のみ、”11:溶媒ベース水溶性標準液を選択して下さい。

※注意 総ビリルビン・直接ビリルビンの報告値は少数点以下1ケタです。

試薬コード: 製造販売元メーカー「ユニチカ」の”351”を選択して下さい。

4. ナトリウム(Na)　5. カリウム(K)　6. クロール(Cl)

単位: mmol／L

A. 通常の分析

方法コード

測定方法	コード
希釈法による測定(01～19を選択)	
日立ハイテクノロジーズ社製電極の分析機	01
エイアンドティー社製電極の分析機	02
東芝社製電極の分析機	03
シーメンスHCD社製の分析機	04
ベックマン・コールター・バイオメディカル社製の分析機	05
ベックマン・コールター社製の分析機	06
ロシュ・ダイアグノスティックス社製の分析機	
インテグラ	07
コバス c501、モジュラーアナリティクス	08
島津製作所社製電極の分析機	09
ISE電極希釈法:その他	19
非希釈法による測定(21～29を選択)	
常光(非希釈法)社製の分析機	21
テクノメディカ(非希釈法)社製の分析機	22
シーメンスHCD(非希釈法)社製の分析機	23
ロシュ・ダイアグノスティックス社製の分析機インテグラ	24
ISE電極非希釈法:その他	29
炎光光度法	51
その他の方法	99

検量コード

検量法	コード
溶媒ベース水溶性標準液	11
血清ベース標準液	21
管理血清等 (表示値)	31
管理血清等 (表示値以外)	32
その他	99

(方法)	(キット名)	(検量コード)	(標準物質名)
01	日立ハイテクノロジーズ自動分析装置での電極法	・11	……(各機種専用の)電解質用標準液
01	日立ハイテクノロジーズ自動分析装置での電極法	・21	……(各機種専用の)電解質用標準液

【方法コード】 分析装置の製造元が同一でも電極の製造元が異なる場合があるため、電極の製造元分類に改編しました。試料マトリクスの影響は電極によって異なります。誤記入は”×”評価となる可能性が高くなりますので、注意して選択してください。

【検量コード】 機器指定の内部標準液等を使用している場合は”11”を選択して下さい。日立及び東芝のISEキャリブレーターはアルブミン溶液ですので、”21”を選択してください。
標準液を表示値以外で使用している場合は、検量方法コードの”99”を選択して下さい。

【機器コード】: 電解質の評価は機種メーカー別で実施する可能性があります。機器コードの選択を誤ると正しい評価が得られませんので、注意して選択して下さい。
日立ハイテクノロジーズの自動分析装置に付属している電解質ユニットは、電解質専用のコードが設けてあります。7600シリーズは”BBC513”,7700シリーズは”BBC516”,ロシュ・ダイアグノスティックスのモジュラーアナリティクスは”BBJ706”を選択して下さい。ベックマン・コールター・バイオメディカル臨床化学自動分析装置 BBA611,BBA612は測定項目としてNa、K、Clのみを対象としています。

試薬メーカーコード: 製造販売元メーカー「積水メディカル」の”152”を選択して下さい。

7. カルシウム(Ca)

単位 : mg／dL

A. 通常の分析

方法コード

測定方法	コード
OCPCキレート比色法	01
MXBキレート比色法	02
アルセナゾⅢ法	21
クロロホスホナゾⅢ比色法	22
酵素法	31
イオン選択電極法	41
その他の方法	99

検量コード

検量法	コード
溶媒ベース水溶性標準液	11
血清ベース標準液	21
管理血清等 (表示値)	31
管理血清等 (表示値以外)	32
その他	99

(方法)	(キット名)	(検量コード)	(標準物質名)
31	アキュラスオート Ca	11	Ca標準液(10. 0mg／dL)
31	アキュラスオート Ca	21	多項目標準血清
01	クイックオート Ca	11	Ca標準液(10. 0mg／dL)

【方法コード】 酵素法の測定試薬を正しく記入できていない施設が多く認められます。
試薬添付文書を確認し、製造販売元を記入してください。例年、酵素法試薬を販売元で記入する施設が多いため、正しく集計ができません。

【報告単位】 報告単位はmg／dLです。その他の単位を使用している施設は、報告値および基準範囲をmg／dLに換算してから報告してください。

検量コード: 標準液を表示値以外で使用している場合は、検量方法コードの”99”を選択して下さい。

試薬コード: 製造販売元メーカー「シノテスト」の”111”を選択して下さい。

8. 無機リン(IP) 単位 : mg／dL

A. 通常の分析

方法コード

測定方法	コード
酵素法	01
モリブデン酸・UV法	11
モリブデン・ブルー法	12
その他の方法	99

検量コード

検量法	コード
溶媒ベース水溶性標準液	11
血清ベース標準液	21
管理血清等（表示値）	31
管理血清等（表示値以外）	32
その他	99

（方法）	（キット名）	（検量コード）	（標準物質名）
01	アキュラスオート IP	11	無機リン(IP)標準液(5. 0mg／dL)
01	アキュラスオート IP	21	多項目標準血清

試薬コード: 製造販売元メーカー「シノテスト」の”111”を選択して下さい。

9. 鉄(Fe)

単位: μg／dL

A. 通常の分析

方法コード

測定方法	コード
Nitroso-PSAP法	01
バソフェナントロリン法	02
Ferene色素法	03
フェロジン法	04
NPS法	05
その他の方法	99

検量コード

検量法	コード
溶媒ベース水溶性標準液	11
血清ベース標準液	21
管理血清等（表示値）	31
管理血清等（表示値以外）	32
その他	99

（方法）（キット名）　　（検量コード）　　（標準物質名）

01　クイックオートネオ　Fe……　11　…… Fe標準液（200μg／dL）

【方法コード】 誤記入が多くみられます。試薬添付文書で確認し、選択してください。

試薬コード: 製造販売元メーカー「シノテスト」の”111”を選択して下さい。

10. 総蛋白(TP)

単位: g／dL

A. 通常の分析

方法コード

測定方法	コード
ビューレット法	01
その他の方法	99

検量コード

検量法	コード
血清ベース標準液	21
管理血清等 (表示値)	31
管理血清等 (表示値以外)	32
その他	99

(方法)	(キット名)	(検量コード)	(標準物質名)
01	ラボメイト TP	21	TP/ALB標準血清
		31	アールトコントロール(添付文書の参考値を使用)
01	ラボシードⅡTP	21	TP/ALB標準血清
		31	アールトコントロール(添付文書の参考値を使用)
01	アキュラスオートTP(総蛋白)	21	TP/ALB標準血清
		31	アールトコントロール(添付文書の参考値を使用)

注意:アールトコントロールをキャリブレーターに使用する場合とTP/ALB標準血清を使用する場合とで検量コードが異なります。ご確認のうえ、注意して記入して下さい。

試薬コード: 製造販売元メーカー「シノテスト」の”111”を選択して下さい。

11. アルブミン（Alb）

単位: g／dL

A. 通常の分析

方法コード

測定方法	コード
BCG法	01
BCP法	02
BCP改良法	03
電気泳動法	11
その他の方法	99

検量コード

検量法	コード
血清ベース標準液	21
管理血清等（表示値）	31
管理血清等（表示値以外）	32
その他	99

（方法）	（キット名）	（検量コード）	（標準物質名）
01	ラボメイトALB	21	TP/ALB標準血清
		31	アールトコントロール（添付文書の参考値を使用）
01	ラボシードⅡALB	21	TP/ALB標準血清
		31	アールトコントロール（添付文書の参考値を使用）
03	アキュラスオートALB	21	TP/ALB標準血清
		31	アールトコントロール（添付文書の参考値を使用）

注意：アールトコントロールをキャリブレーターに使用する場合とTP/ALB標準血清を使用する場合とで検量コードが異なります。ご確認のうえ、注意して記入して下さい。

【検量コード】 電気泳動法のように標準物質がない場合は ″99 ″を選択してください。

【報告単位】 報告単位はg／dLです。電気泳動法における%報告は集計を廃止していますので、電気泳動法でアルブミンを報告する場合は、自施設で測定した総蛋白濃度よりアルブミン濃度を求めてくさい。

試薬コード: 製造販売元メーカー「シノテスト」の”111”を選択して下さい。

12. 尿酸(UA)

単位 : mg／dL

A. 通常の分析

方法コード

測定方法	コード
ウリカーゼPOD法	01
ウリカーゼUV法	02
シーメンスHCD試薬	51
ベックマン・コールター試薬	52
その他の方法	99

検量コード

検量法	コード
溶媒ベース水溶性標準液	11
血清ベース標準液	21
管理血清等（表示値）	31
管理血清等（表示値以外）	32
その他	99

（方法）	（キット名）	（検量コード）	（標準物質名）
01	クイックオートネオ UAⅡ	11	UA標準液（15mg／dL）
01	クイックオートネオ UAⅡ	21	多項目標準血清

【方法コード】 例年、試料マトリクスの影響により、シーメンスHCDとベックマン・コールターの試薬は別評価を行ってきました。本年度の試料も、別評価を行う可能性があるため、これらの試薬に対して方法分類を別にしました。

試薬コード： 製造販売元メーカー「シノテスト」の”111”を選択して下さい。

13. 尿素窒素(UN)

単位 : mg／dL

A. 通常の分析

方法コード

測定方法	コード
ウレアーゼ･GLDH:消去法	01
ウレアーゼ･GLDH･ICDH:消去法	02
ウレアーゼ･LED:回避法	03
ウレアーゼ･酵素阻害法	04
ウレアーゼ伝導率(電極)法	05
その他の消去法または回避法	06
ウレアーゼ･GLDH:未消去法	11
ウレアーゼ･インドフェノール:未消去法	12
その他の未消去法	99

検量コード

検量法	コード
溶媒ベース水溶性標準液	11
血清ベース標準液	21
管理血清等(表示値)	31
管理血清等(表示値以外)	32
その他	99

(方法)	(キット名)	(検量コード)	(標準物質名)
01	クイックオートネオ BUN	11	BUN標準液(30mg/dL)
01	クイックオートネオ BUN	21	多項目標準血清
02	クイックオートネオ UN	11	BUN標準液(30mg/dL) または UN標準液(300mg/dL)
02	クイックオートネオ UN	21	多項目標準血清

【方法コード】 本来は測定方法を細分類するのは好ましくないと考えていますが、管理血清を用いた精度管理調査であるため、患者試料とは異なる反応性を示す可能性があります。
測定方法が多種になっていますが、使用している試薬の添付文書をよく読んで選択してください。
例年、アンモニア消去と未消去を誤って選択する施設がみられますが、選択ミス等で悪い評価を受けないように注意してください。

※注意: 内因性アンモニア消去の試薬はアンモニアの影響を受けない方法(”01”～”06”)から選択して下さい。

試薬コード: 製造販売元メーカー「シノテスト」の”111”を選択して下さい。

14. クレアチニン（Cre）

単位 ： mg／dL

A. 通常の分析

方法コード

測定方法	コード
酵素法	01
Jaffe rate assay法	11
その他の方法	99

検量コード

検量法	コード
溶媒ベース水溶性標準液	11
血清ベース標準液	21
管理血清等（表示値）	31
管理血清等（表示値以外）	32
その他	99

（方法）	（キット名）	（検量コード）	（標準物質名）
01	アキュラスオート CRE	11	CRE標準液（5．0mg／dL）
01	アキュラスオート CRE	21	多項目標準血清

試薬コード： 製造販売元メーカー「シノテスト」の”111”を選択して下さい。

15. 総コレステロール(TC)

単位 : mg／dL

A:通常の分析

方法コード

測定方法	コード
コレステロール酸化酵素法	01
コレステロール脱水素酵素法	02
シーメンスHCD 試薬	51
ベックマン・コールター試薬	52
その他の方法	99

検量コード

検量法	コード
溶媒ベース水溶性標準液	11
血清ベース標準液	21
管理血清等 (表示値)	31
管理血清等 (表示値以外)	32
実測K-factor	41
その他	99

(方法)	(キット名)	(検量コード)	(標準物質名)
01	クイックオートネオ T-CHO Ⅱ	11	コレステロール標準液(200mg／dL)
01	クイックオートネオ T-CHO Ⅱ	21	Aalto Control LIPID Ⅱ
01	クイックオートネオ T-CHO Ⅱ	21	脂質標準血清

【方法コード】 "01"はコレステロール・オキシダーゼを用いた酵素法です。
"02"はコレステロール・デヒドロゲナーゼを用いた酵素法です。化学法は"99"を選択してください。
例年、試料マトリクスの影響により、シーメンスHCDとベックマン・コールターの試薬は別評価を行ってきました。本年度の試料も、別評価を行う可能性があるため、これらの試薬に対して方法分類を別にしました。

試薬コード: 製造販売元メーカー「シノテスト」の"111"を選択して下さい。

16. 中性脂肪(TG)

単位 : mg／dL

A:通常の分析

方法コード

測定方法	コード
JSCC／ReCCS 基準	01
JSCC／ReCCS 基準以外	99

検量コード

検量法	コード
溶媒ベース水溶性標準液	11
血清ベース標準液	21
管理血清等 (表示値)	31
管理血清等 (表示値以外)	32
その他	99

(方法)	(キット名)	(検量コード)	(標準物質名)
99	クイックオートネオ TGⅡ	11	TG標準液(トリオレイン250mg／dL)
99	クイックオートネオ TGⅡ	21	Aalto Control LIPIDⅡ ﾄﾘｵﾚｲﾝSigmaT7140の表示値を使用
01	クイックオートネオ TGⅡ	21	Aalto Control LIPIDⅡ コレステロール・中性脂肪常用標準物質(ReCCS)の表示値を使用
01	クイックオートネオ TGⅡ	21	Aalto Control LIPIDⅡ 脂質測定用常用参照標準物質(ReCCS)の表示値を使用
99	クイックオートネオ TGⅡ	21	脂質標準血清 ﾄﾘｵﾚｲﾝSigmaT7140の表示値を使用
01	クイックオートネオ TGⅡ	21	脂質標準血清 コレステロール・中性脂肪常用標準物質(ReCCS)の表示値を使用
01	クイックオートネオ TGⅡ	21	脂質標準血清 脂質測定用常用参照標準物質(ReCCS)の表示値を使用

【方法コード】 中性脂肪の標準物質にはJSCC／ReCCS 基準の値を併記しているものが市販されてきています。この値を伝達している施設は”01”を選択して下さい。従来の表示値とは若干ズレることが確認されています。従来の表示値(NIST基準、グリセロール基準等)を利用している施設は”99”を選択して下さい。

【評価】 JSCC／ReCCS 基準(方法コード01)とした測定方法を対象とするため、JSCC／ReCCS 基準以外(方法コード99)を選択の施設は〇・△・×評価の対象から外れます。

試薬コード: 製造販売元メーカー「シノテスト」の”111”を選択して下さい。

17. HDL-コレステロール(HDLC)

単位 : mg／dL

A:通常の分析

方法コード

測定方法	コード
積水メディカル:コレステストN HDL、クオリジェントHDL	01
積水メディカル:エクセライザ HDL	02
協和メデックス:デタミナーL HDL-C	03
協和メデックス:デタミナー L HDL-C K処方	04
協和メデックス:メタボリード HDL-C	05
和光純薬:Lタイプワコー HDL-C	06
和光純薬:Lタイプワコー HDL-C・M2	07
デンカ生研:HDL-EX N	08
シスメックス:HDL-C試薬KL「コクサイ」	09
セロテック:HDL-L	10
カイノス:アクアオートカイノス HDL試薬	11
ベックマン・コールター:HDLD試薬	12
シーメンスHCD:HDLコレステロールAHDL	13
シノテスト:クイックオート ネオ HDL-C	14
関東化学:シカリキッド HDL	15
東洋紡:ダイヤカラー・ HDL	16
その他の方法	99

検量コード

検量法	コード
溶媒ベース水溶性標準液	11
血清ベース標準液	21
管理血清等 (表示値)	31
管理血清等 (表示値以外)	32
その他	99

(方法) (キット名)	(検量コード)	(標準物質名)
14 クイックオート ネオ HDL-C	21	脂質標準血清

【方法コード】 管理血清を用いたHDL-コレステロール測定の精度管理調査は同一測定原理でも試薬間差が現れる可能性があります。そのため、試薬別の分類になっています。必ず使用している試薬を確認して、該当する製造販売元の方法コードを選択してください。
HDL-コレステロールとLDL-コレステロールの方法コードは異なります。注意して選択して下さい。

試薬コード: 製造販売元メーカー「シノテスト」の"111"を選択して下さい。

18. LDL-コレステロール(LDLC)

単位 : mg／dL

A:通常の分析

方法コード

測定方法	コード
積水メディカル:コレステスト LDLDpタイプ コレステスト LDL、STタイプ コレステスト LDL、クオリジェントLDL	01
積水メディカル:エクセライザ LDL	02
協和メデックス:デタミナー L LDL-C	03
和光純薬:Lタイプワコー LDL-C	04
和光純薬:Lタイプワコー LDL-C・M	05
デンカ生研:LDL-EX N	06
デンカ生研:デュアル CHO T&L	07
シスメックス:LDL-C試薬KL「コクサイ」	08
セロテック:LDL-L	09
カイノス:アクアオートカイノス LDL-C試薬	10
ベックマン・コールター:LDLD試薬	11
シーメンスHCD:LDLコレステロールALDL	12
シノテスト:クイックオート ネオ LDL- C	13
オーソ・クリニカル・ダイアグノスティックス :ビトロス マイクロチップdLDL	14
関東化学:シカリキッド LDL	15
東洋紡:ダイアカラー・ HDL	16
計算によって算出	98
その他の方法	99

検量コード

検量法	コード
溶媒ベース水溶性標準液	11
血清ベース標準液	21
管理血清等 (表示値)	31
管理血清等 (表示値以外)	32
その他	99

(方法) (キット名)	(検量コード)	(標準物質名)
13 クイックオート ネオ LDL- C	21	脂質標準血清

【方法コード】管理血清を用いたLDL-コレステロール測定の精度管理調査は同一測定原理でも試薬間差が現れる可能性があります。そのため、試薬別の分類になっています。必ず使用している試薬を確認して、該当する製造販売元の方法コードを選択してください。
計算によって算出している場合は"98:の計算によって算出" を選択し、測定装置は"ZZZ999:その他の医用検体検査装置"および試薬検量は"99:その他"を選択してください。
ただし、計算による算出は評価対象外とします。
HDL-コレステロールとLDL-コレステロールの方法コードは異なります。注意して選択して下さい。

※注意: LDL-コレステロールのドライケミストリー精度管理調査は実施しません。

試薬コード: 製造販売元メーカー「シノテスト」の"111"を選択して下さい。

19. AST　20. ALT　　単位 ： 37℃国際単位

A. 通常の分析

方法コード

測定方法	コード
JSCC標準化対応法	01
IFCC標準化対応法	02
その他の方法（その他の測定単位）	99

検量コード

検量方法	コード
検量用ERM	61
実測K-factor	41
指定factor	42
その他	99

（ASTキット名）　（方法コード）　（検量コード）

クイックオートネオAST JS ・・・・・・・・・ 01 ・・・・ 61（検量用ERMとしてAalto EC、Aalto Control LEVEL Ⅱ、または、Aalto Control CRP Ⅱを使用した場合）
41（実測K-factor）、 42（指定factor）

（ALTキット名）　（方法コード）　（検量コード）

クイックオートネオALT JS ・・・・・・・・・ 01 ・・・・ 61（検量用ERMとしてAalto EC、Aalto Control LEVEL Ⅱ、または、Aalto Control CRP Ⅱを使用した場合）
41（実測K-factor）、 42（指定factor）

【評価】 JSCC標準化対応法以外の施設は、○・△・×評価の対象から外れます。

試薬コード： 製造販売元メーカー「シノテスト」の”111”を選択して下さい。

21. ALP

単位 ： 37℃国際単位

A. 通常の分析

方法コード

測定方法	コード
JSCC標準化対応法	01
IFCC標準化対応法	02
SSCC標準化対応法	03
GSCC標準化対応法	04
MEG緩衝液を用いる方法	05
フェニルリン酸を基質とする方法	06
その他の方法(その他の測定単位)	99

検量コード

検量方法	コード
検量用ERM	61
実測K-factor	41
指定factor	42
その他	99

（キット名）　　（方法コード）　　（検量コード）

クイックオートネオ ALP-JS ・・・・・ 01 ・・・・・・・・ 61（検量用ERMとしてAalto EC、Aalto Control LEVELⅡ、または、Aalto Control CRPⅡを使用した場合）
41（実測K-factor）、 42（指定factor）

クイックオートネオ ALP-JSⅡ ・・・ 01 ・・・・・・・・ 61（検量用ERMとしてAalto EC、Aalto Control LEVELⅡ、または、Aalto Control CRPⅡを使用した場合）
41（実測K-factor）、 42（指定factor）

【方法コード】ALPの測定値は用いられている緩衝液によって異なります。緩衝液によって反応性が異なる場合が多いので、各々の勧告法で用いられている緩衝液と異なるものを使用すると標準化対応法ではなくなります。勧告法で用いられている緩衝液は下記に示す通りですが、N-メチル-Dグルカン（MEG）を緩衝液に用いた勧告法は現在ありませんので、独立した分類にしてあります。基質はp-ニトロフェニルリン酸が大勢を占めています。

緩衝液：　JSCC勧告法： 2-エチルアミノエタノールまたはN-エチルアミノエタノール（EAE）
IFCC勧告法： 2-アミノ-2メチル-1プロパノール（AMP）
GSCC勧告法： ジエタノールアミン（DEA）
SSCC勧告法： ジエタノールアミン（DEA）

【評価】 JSCC標準化対応法以外の施設は、○・△・×評価の対象から外れます。

試薬コード： 製造販売元メーカー「シノテスト」の”111”を選択して下さい。

22. LD

単位 ： 37℃国際単位

A. 通常の分析

方法コード

測定方法	コード
JSCC標準化対応法	01
GSCC／IFCC標準化対応法	02
その他の乳酸→ピルビン酸法	03
SSCC標準化対応法	11
SFBC標準化対応法	12
Wroblewski-Ladu法	13
その他のピルビン酸→乳酸法	14
その他の方法（その他の測定単位）	99

検量コード

検量方法	コード
検量用ERM	61
実測K-factor	41
指定factor	42
その他	99

（キット名）　　（方法コード）　（検量コード）

クイックオートネオ LDH ・・・・・・　12 ・・・・・・・・ 41（実測K-factor）、 42（指定factor）

クイックオートネオ LD JS ・・・・　01 ・・・・・・・・ 61（検量用ERMとしてAalto EC、Aalto Control LEVEL Ⅱ、
または、Aalto Control　CRP Ⅱを使用した場合）
41（実測K-factor）、 42（指定factor）

【方法コード】LDは乳酸からピルビン酸への反応とピルビン酸から乳酸への反応があります。添付文書を良く読んで回答してください。
GSCC／IFCC標準化対応法は”ピルビン酸→乳酸”から”乳酸→ピルビン酸”に変っています。
旧GSCC／IFCC標準化対応法（ピルビン酸→乳酸）を使用している場合は”14：その他のピルビン酸→乳酸法”を選択して下さい。

【評価】 JSCC標準化対応法以外の施設は、○・△・×評価の対象から外れます。

試薬コード：　製造販売元メーカー「シノテスト」の”111”を選択して下さい。

23. AMY

単位 ： 37℃国際単位

A. 通常の分析

方法コード ※次頁の資料(基質・試薬一覧)を参考のこと。

使用基質	標準化対応法	従来法
G3-CNP	01	51
G5-pNP	02	52
G5-CNP	03	53
G7-pNP	04	54
G7-CNP	05	55
ベンジル-G5-pNP	11	61
3-ケトブチリデン-G5-CNP	12	62
6-アジ化-G5-CNP	13	63
ベンジリデン-G7-pNP	14	64
4, 6-エチリデン-G7-pNP	15	65
Gal-G2-CNP	21	71
Gal-G4-CNP	22	72
Gal-G5-pNP(CNP)	23	73
オリゴ糖基質UV法G4	31	81
その他の方法	49	99

検量コード

検量方法	コード
検量用ERM	61
実測K-factor	41
指定factor	42
管理血清等 (表示値)	31
管理血清等 (表示値以外)	32
その他	99

(キット名)	(方法コード)	(検量コード)
クイックオートネオAMY	14	61(検量用ERMとしてAalto EC、Aalto Control LEVELⅡ、または、Aalto Control CRPⅡを使用した場合)
	64	41(実測K-factor)、 42(指定factor)
クイックオートネオAMY-5	23	61(検量用ERMとしてAalto EC、Aalto Control LEVELⅡ、または、Aalto Control CRPⅡを使用した場合)
	73	41(実測K-factor)、 42(指定factor)
アキュラスオートAMY-IF	15	61(検量用ERMとしてAalto EC、Aalto Control LEVELⅡ、または、Aalto Control CRPⅡを使用した場合)
	65	41(実測K-factor)、 42(指定factor)

【方法コード】JSCC(IFCC／JCCLS)標準化対応法の場合は、標準化対応法の01～49より選択してください。
JSCC標準化対応法以外の方法の場合は、従来法の51～99より選択してください。

【評価】 JSCC標準化対応法以外(方法コード:51～99)の施設は、○・△・×評価の対象から外れます。

試薬コード: 製造販売元メーカー「シノテスト」の"111"を選択して下さい。

24. CK

単位 ： 37℃国際単位

A. 通常の分析

方法コード

測定方法	コード
JSCC標準化対応法	01
IFCC標準化対応法	02
その他の方法(その他の測定単位)	99

検量コード

検量方法	コード
検量用ERM	61
実測K-factor	41
指定factor	42
その他	99

（キット名）　　（方法コード）（検量コード）

クイックオートネオCK JSⅡ ・・・・・ 01 ・・・・・61（検量用ERMとしてAalto EC、Aalto Control LEVELⅡ、または、Aalto Control CRPⅡを使用した場合）
41（実測K-factor）、 42（指定factor）

アキュラスオート CK JS ・・・・・・・・ 01 ・・・・・61（検量用ERMとしてAalto EC、Aalto Control LEVELⅡ、または、Aalto Control CRPⅡを使用した場合）
41（実測K-factor）、 42（指定factor）

【評価】 JSCC標準化対応法以外の施設は、○・△・×評価の対象から外れます。

試薬コード: 製造販売元メーカー「シノテスト」の”111”を選択して下さい。

25. γ-GT(GGT)　　単位 : 37℃国際単位

A. 通常の分析

方法コード

測定方法	コード
JSCC/IFCC標準化対応法	01
その他の方法(その他の測定単位)	99

検量コード

検量方法	コード
検量用ERM	61
実測K-factor	41
指定factor	42
その他	99

（キット名）　　（方法コード）（検量コード）

クイックオートネオ γ-GT JS ・・・・・・・　01 ・・・・・61（検量用ERMとしてAalto EC、Aalto Control LEVEL Ⅱ、
または、Aalto Control　CRP Ⅱを使用した場合）
41（実測K-factor）、 42（指定factor）

【方法コード】例年、方法コードの選択ミスが多くみられますので注意して下さい。検量用ERM等を使用してJSCC/IFCCの測定値を伝達している場合は”01：JSCC/IFCC標準化対応法”を選択してください。市販されているほとんどの試薬は検量用ERMを用いることで標準化対応が可能になっています。自施設の試薬と検量方法を確認して回答して下さい。JSCC/IFCCの測定値を伝達していない場合は、”99：その他の方法”を選択して下さい。

【評価】　JSCC標準化対応法以外の施設は、○・△・×評価の対象から外れます。

試薬コード:　製造販売元メーカー「シノテスト」の”111”を選択して下さい。

26. コリンエステラーゼ （ChE）

単位 ： 37℃国際単位

A. 通常の分析

方法コード:使用している基質

使用基質（試薬メーカー）・・・・・・・・・・・・・	標準化対応法	従来法
p－ヒドロキシベンゾイルコリン	01	51
5-メチル-2テノイルチオコリン（和光純薬、シーメンスHCD）	06	56
2, 3-ジメトキシベンゾイルチオコリン（シスメックス）	11	61
ブチリルチオコリン(和光純薬)		66
ブチリルチオコリン(三菱化学メディエンス)		67
ブチリルチオコリン(ﾛｼｭ･ﾀﾞｲｱｸﾞﾉｽﾃｨｯｸｽ)	18	68
ブチリルチオコリン(シーメンスHCD)	19	69
ブチリルチオコリン(ベックマン･コールター)	20	70
ブチリルチオコリン(岸本医科学研究所)	21	71
ベンゾイルチオコリン（関東化学）	25	75
3,4-ジヒドロキシベンゾイルコリン（ニットーボーメディカル、積水ﾒﾃﾞｨｶﾙ）	26	76
その他の方法	49	99

検量コード

検量方法	コード
検量用ERM	61
実測K-factor	41
指定factor	42
管理血清等（表示値）	31
管理血清等（表示値以外）	32
その他	99

（キット名）	（方法コード）	（検量コード）
クイックオートネオ　Ch－E	01	61（検量用ERMとしてAalto EC、Aalto Control LEVEL Ⅱ、または、Aalto Control　CRP Ⅱを使用した場合）
	51	41（実測K-factor）、 42（指定factor）

【方法コード】JSCC標準化対応法の場合は、標準化対応法の01～49より選択してください。

JSCC標準化対応法以外の方法の場合には、従来法の51～99より選択してください。

⊿pH等の他の測定単位を使用している施設は、37℃国際単位に換算して頂くか、”99:その他”の方法を選択してください。

【評価】 JSCC標準化対応法以外（方法コード:51～99）の施設は○・△・×評価の対象から外れます。

試薬コード: 製造販売元メーカー「シノテスト」の”111”を選択して下さい。

27. 尿グルコース(uGlu)

単位 : mg／dL

A. 通常の分析およびドライケミストリー

方法コード

測定方法	コード
ヘキソキナーゼ(HK)法	01
グルコキナーゼ法	02
ブドウ糖脱水素酵素法	03
ブドウ糖酸化酵素(GOD)法	04
ブドウ糖酸化酵素(GOD)電極法	11
富士ドライケム(ドライケミストリー)	21
ビトロス(ドライケミストリー)	22
その他の方法	99

検量コード

検量法	コード
溶媒ベース水溶性標準液	11
血清ベース標準液	21
管理血清等 (表示値)	31
管理血清等 (表示値以外)	32
ドライケミストリー指定検量	81
その他	99

(方法)	(キット名)	(検量コード)		(標準物質名)
04	GLUネオ"ｼﾉﾃｽﾄ"	11	・・・・・・・・	グルコース標準液(200mg／dL)
01	クイックオートⅡGLU-HK	11	・・・・・・・・	GLU標準液(200mg／dL)
01	クイックオートⅡGLU-HK	21	・・・・・・・・	多項目標準血清
01	クイックオートネオ GLU-HK	11	・・・・・・・・	GLU標準液(200mg／dL)
01	クイックオートネオ GLU-HK	21	・・・・・・・・	多項目標準血清
＊ 11	グルコローダー シリーズ	11	・・・・・・・・	グルコローダー用GLU標準液

＊グルコローダーシリーズを使用の場合、試薬メーカーコードは「エイアンドティー」の "031 " を選択してください。

【方法コード】尿グルコースは、ドライケミストリーと通常の分析をあわせて集計、評価を行います。ブドウ糖酸化酵素法(汎用分析装置)は"04"、ブドウ糖酸化酵素電極法(専用分析装置)は"11"となります。例年、電極法と比色法の誤記入が多く認められますので注意してください。

【検量コード】専用分析装置で測定し、機器指定の内部標準液等を使用している場合は "11 "を選択してください。

※注意　ドライケミストリーの中には、尿試料を測定対象外としている製品もあります。必ず試薬添付説明書で尿試料測定に適しているか確認してください。

試薬コード: 製造販売元メーカー「シノテスト」の"111"を選択して下さい。

29. 尿クレアチニン（uCre）

単位 ： mg／dL

A. 通常の分析およびドライケミストリー

方法コード

測定方法	コード
酵素法	01
Jaffe rate assay法	11
ビトロス（ドライケミストリー）	21
その他の方法	99

検量コード

検量法	コード
溶媒ベース水溶性標準液	11
血清ベース標準液	21
管理血清等（表示値）	31
管理血清等（表示値以外）	32
ドライケミストリー指定検量	81
その他	99

（方法）	（キット名）	（検量コード）	（標準物質名）
01	アキュラスオート CRE	11	CRE標準液（5．0mg／dL）
01	アキュラスオート CRE	21	多項目標準血清

試薬コード： 製造販売元メーカー「シノテスト」の”111”を選択して下さい。

30. 24時間クレアチニン・クリアランス計算 （Ccr）

単位：mL／min

※参考調査

次の条件で体表面積（㎡）と24時間クレアチニン・クリアランスを計算してください。本年度も身長・体重から算出した体表面積（㎡）、24時間クレアチニン・クリアランス計算値、補正計算に使用している体表面積について回答してください。補正計算に使用している体表面積とは、1．48㎡および1．73㎡などです。従来は日本人の平均体表面積は1．48㎡を一般的に用いられていましたが、2001年日本腎臓学会で1．73㎡に改められています。また、日本腎臓学会のCKD診療ガイドでも1．73㎡が用いられています。平均体表面積で補正計算を行っていない場合は”1．00”で報告してください。

【クリアランスの計算式】

$$24\text{時間Ccr}(\text{mL／min}) = \frac{\text{UX24時間尿量}(\text{mL／ day})}{\text{S X 1440}(\text{min/day})} \times \frac{1．48 \text{ or } 1．73}{\text{A}}$$

U＝尿クレアチニン濃度（mg／dL）

S＝血清クレアチニン濃度（mg／dL）

A＝体表面積BSA（m^2）＝体重（kg）$^{0.425}$X身長（cm）$^{0.725}$X0．007184 ・・・・・DuBoisの式

1．48 or 1．73＝ 日本人の平均体表面積（m^2）

※注意 本年度より単位を、mL／minに変更しました。
L／dayから、mL／minへ換算する場合は、[L／day]／1．44＝[mL／min]となります。

例年、明らかな計算ミスと思われる報告が多数みられます。日常検査と同様に計算を行って報告してください。

クリアランス計算1

年齢	11歳
性別	男性
身長	135．0cm
体重	45．0kg
血清クレアチニン	試料11測定値
尿クレアチニン	試料15測定値
24時間尿量	1000mL

クリアランス計算2

年齢	30歳
性別	男性
身長	175．0cm
体重	70．0kg
血清クレアチニン	試料12測定値
尿クレアチニン	試料16測定値
24時間尿量	2000mL

31. eGFR計算 **単位:mL／min／1．73㎡**

※参考調査

次の条件でeGFR(推定糸球体濾過量)を計算してください。

以下の計算式は日本腎臓学会が、腎臓機能を評価する為の新たな推定式として正式に発表したものです。

【eGFRの計算式】

男性:eGFR(mL／min／1．73m^2)＝194 X $Cr^{-1.094}$ X $Age^{-0.287}$

女性:eGFR(mL／min／1．73m^2)＝194 X $Cr^{-1.094}$ X $Age^{-0.287}$ X0．739

Cr＝血清クレアチニン濃度(mg／dL)

Age＝年齢(才)

eGFR計算1

年齢	20歳
性別	男性
血清クレアチニン	試料11測定値

eGFR計算2

年齢	50歳
性別	女性
血清クレアチニン	試料12測定値

32. ヘモグロビンA1c(HbA1c)

単位 : %

A. 通常の分析

方法コード

測定方法	コード
HPLC法:アークレイ	01
HPLC法:東ソー	02
HPLC法:常光	03
HPLC法:バイオ・ラッドラボラトリーズ(D－10システム)	04
ロシュ・ダイアグノスティックス:リキテック	11
ロシュ・ダイアグノスティックス:コバス試薬(インテグラ)	12
ロシュ・ダイアグノスティックス:コバス試薬Ⅱ(c501/ｲﾝﾃｸﾞﾗ)	13
協和メデックス:デタミナーHbA1c	14
協和メデックス:デタミナーL HbA1c	15
協和メデックス:メディダス HbA1c K(A1c GEAR)	16
富士レビオ:ラピディアオートHbA1c－L	17
和光純薬:オートワコーHbA1c	18
シーメンスHCD:ヘモグロビンA1cキットHbA1c	19
シスメックス:エルシステムHbA1c	20
積水メディカル:ノルディアN HbA1c/ ノルディアHbA1c	21
アークレイ:サンクHbA1c	22
アークレイ:スポットケムi-Pack HbA1c	31
三和化学研究所:メディダス HbA1c S	32
シーメンスHCD:DCA2000	33
シーメンスHCD:DCAバンテージ	34
富士フィルム:ポイントケム HbA1c	35
オーソ・クリニカル・ﾀﾞｲｱｸﾞﾉｽﾃｨｯｸｽ: ビトロス マイクロチップ d%A1c	36
ベックマン・コールター・バイオメディカル:AU リェージェントHbA1c(オート)	37
その他の方法	99

検量コード

検量方法	コード
JCCLS CRM004a準拠	51
JCCRM 411－2準拠	52
その他および何らかの補正	99

●試料の調製方法:ラピディアオートHbA1c－L

試料17、18を0. 2mLで溶解した時の総ヘモグロビン量は約10g／dLです。
それぞれの測定条件にあわせて、総ヘモグロビン濃度を参考に試料を指定の溶血試薬などで希釈し測定してください。
上記試料を注射用蒸留水にて41倍希釈して試料として下さい。

●試料の調製方法:ノルディアN HbA1c

試料17、18を0. 2mLで溶解した時の総ヘモグロビン量は約10g／dLです。
試料0. 1mLに精度管理用試料専用希釈液0. 1mLを添加混合します。
この添加混合試料0. 1mLに0. 6mLの前処理液(「ノルディアN HbA1c用HbA1c前処理液」)を加えて攪拌し、前処理試料として下さい。
(もし、Hb濃度が90μmol/L以下の場倍は加える前処理液の量を減らして再度測定して下さい。)
注:前処理試料は調製後速やかに測定するか、冷蔵し1時間以内に測定して下さい。

(キット名)	(方法コード)	(検量コード)	(試薬コード)
ラピディアオートHbA1c-L	17	51	184
ノルディアN HbA1c	21	51	152

【方法コード】 不安定なレイバイルHbA1cが含まれた測定値を報告する場合は、"99:その他の方法"を選択して下さい。

【検量コード】 日本糖尿病学会のJDS Lot. 3及びJDS Lot. 4(JCCRM411-2)の測定値を伝達した標準物質が各社より供給されています。正確に伝達している場合は"51:JDS Lot. 3(JCCLS CRM004a)又は52:JDS Lot. 4(JCCRM411-2)準拠"を選択して下さい。
不明な場合には試薬製造元に確認して下さい。

東ソーのHPLC法について「HbA1cキャリブレータセット(J)」の取扱説明書の「基準値」の項に記載されています。

【試薬コード】 アークレイのHPLC法(HbA1c)については、試薬コードもアークレイ"001"を選択して下さい。

●免疫血清検査

● CRP

サーベイ手引書p71　CRP測定試薬一覧（表1）より抜粋。

（試薬ｺｰﾄﾞ）	（試薬名）	（方法ｺｰﾄﾞ）	（方法名称）	（検量ｺｰﾄﾞ）	（由来）	（抗体ｺｰﾄﾞ）	（動物種）
05302	クイックターボCRP－NV	5	ラテックス比濁法（専用機器）	4	ERM-DA470	1	ヤギ
05303	ラテシエCRP	5	ラテックス比濁法（専用機器）	4	ERM-DA470	1	ヤギ
06302	アキュラスオートCRPⅡ	6	ラテックス比濁法（汎用機器）	4	ERM-DA470	4	マウス

※注意：クイックターボCRP- NV使用の場合には、数値はWHO（ERM-DA470）基準に換算してご回答下さい。
換算は以下のように行って下さい。

Ⅰ．クイックターボⅡを使用している施設

1）PCがベーシックタイプの場合
全てが旧国内基準ですので、相関補正1.00の場合には0.827をかけてください。また、0.827が入力されている場合にはそのままの報告を御願いします。

2）PCがWindowsタイプの場合（IBMもしくはDellのPC）
プログラムのツールバー（左上）にa、b、c、dが表示されています。
a、c：旧国内基準の設定になっています。
相関補正1.00の場合には0.827をかけてください。また、0.827が入力されている場合にはそのままの報告を御願いします。

b、d：ERM-DA470基準の設定になっています。
相関補正1.209の場合には0.827をかけてください。また、1.00が入力されている場合にはそのままの報告を御願いします。

Ⅱ．クイックターボCを使用している施設

メイン画面の左上にバージョンNo. が表示されていて、その後ろにa、bが表示されています。
a：国内基準の設定になっています。
相関補正1.00の場合には0.827をかけてください。また、0.827が入力されている場合にはそのままの報告を御願いします。

b：ERM-DA470基準の設定になっています。
相関補正1.209の場合には0.827をかけてください。また、1.00が入力されている場合にはそのままの報告を御願いします。

Ⅲ．ラテシエCRPを使用している施設

ERM-DA470基準の設定になっていますので、そのままの報告を御願いします。

● 梅毒TP抗体

サーベイ手引書p.74梅毒TP抗体測定試薬一覧（表4）より抜粋。

（試薬ｺｰﾄﾞ）	（試薬名）	（方法ｺｰﾄﾞ）	（方法名称）	（定量・定性）
06306	アキュラスオートTP抗体（梅毒）-A	6	ラテックス比濁法（汎用機器）	定量、定性

● HBs抗原

サーベイ手引書p.75　HBs抗原測定試薬一覧（表5）より抜粋。

（試薬ｺｰﾄﾞ）	（試薬名）	（方法ｺｰﾄﾞ）	（方法名称）	（定量・定性）
42301	クイックビーズHBs抗原	42	逆受身粒子凝集法	定性

試薬コード：　製造販売元メーカー「シノテスト」の”111”を選択して下さい。